

平成30年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	総合体育館、地区体育館(10施設)、トレーニングセンター
所在地	豊橋市神野新田町字メノ割1-3(総合体育館)ほか
指定管理者	公益財団法人豊橋市体育協会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
担当課	文化・スポーツ部「スポーツのまち」づくり課(0532-51-2865)
平成29年度指定管理料(決算)	136,631千円
平成30年度指定管理料(決算見込)	136,046千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	施設の点検、修繕を実施するなど、仕様書等に基づき概ね適正に行われている。一方で施設利用者の指導管理が行き届かないことがあり、適切な維持管理業務を行うための指導が必要であった。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	年齢に応じたスポーツ教室等の自主事業が実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書等のとおり適正に人員配置されており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	毎月1回、連絡事項、苦情などに対する対応など、職員等への方針の徹底を図っている。一方で施設や担当者ごとに対応が異なることがあり、指導が必要であった。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	適正に個人情報を管理している。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急連絡網、警報発令時の対応マニュアルが作成されており、各施設ごとの消防訓練やAED講習が実施され、十分な取組がなされている。				
施設利用	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	公平性を確保して適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数や施設稼働率についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して平成29・30年度を比較)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(H30-H29)
			開館日数	308日	308日	308日	0日
			利用者数				
			a. 総合体育館	241,289人	201,148人	238,028人	36,880人
			b. 前田南地区体育館	39,344人	39,190人	42,337人	3,147人
			c. 新栄地区体育館	33,038人	31,686人	30,617人	▲1,069人
			d. 牛川地区体育館	38,879人	39,968人	35,894人	▲4,074人
			e. 草間地区体育館	43,198人	43,010人	40,814人	▲2,196人
			f. 飯村地区体育館	42,959人	42,545人	37,636人	▲4,909人
			g. 下五井地区体育館	34,362人	38,140人	37,764人	▲376人
			h. 浜道地区体育館	38,034人	39,556人	39,600人	44人
			i. 二川地区体育館	35,389人	36,555人	35,592人	▲963人
			j. 石巻地区体育館	35,116人	32,688人	33,224人	536人
k. 大清水地区体育館	53,307人	50,012人	50,745人	733人			
l. トレーニングセンター	35,449人	24,072人	29,171人	5,099人			
計	670,364人	618,570人	651,422人	32,852人			

用状況に関する事項			【要因分析】 体育協会創立90周年・法人化40周年に際し、数多くの記念大会を開催した。また総合体育館では、宮崎大輔、松岡修造、平野早矢香など有名選手を活用した教室を昨年以上に力を入れ、利用者増に貢献した。			
	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	日本を代表する有名選手の指導者を招いて、教室や講習会を開催したほか、健康づくりとしてメタボ予防のための健康増進教室の開催、東三河ジュニアスポーツ勉強会を開催し、指導者向けのイベントなど目新しいメニューを組み込み施設紹介を兼ねたPRに努めた。			
	利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査（アンケート）等を実施し、業務改善を実施しているか。（指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく）	利用者アンケート 利用申請：とても便利・便利61.7%、どちらともいえない25.5%、不便・非常に不便12.5% 施設利用：とても利用しやすい・まずまず利用しやすい84.1%、どちらともいえない10.7%、やや利用しづらい・非常に利用しづらい3.1% 職員対応：とてもよい・よい89.5%、どちらともいえない8.2%、不親切・非常に不親切0.6% ・アンケート結果を分析すると、利用者の満足度は高いものと考えられるが、引き続き満足度を高める取り組みが必要である。			
	意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
			熱中症対策として、各地区体育館へ扇風機が必要		業務用扇風機を各館2台新設	
卓球防球フェンスの補修			フェンスカバー更新			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	概ね適切かつ迅速に行われているが、施設や担当者ごとに対応が異なることがあったので、マニュアルに基づいた適切な対応ができるよう指導を行った。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。一部マニュアルに基づかない書類処理があり、適切な執行を行うよう指導が必要であった。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	収支計画書どおりの収支状況となっており、コスト削減にも努めている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	136,046千円	指定管理事業費	191,010千円
			利用料金収入	46,483千円		
			自主事業収入	2,350千円		
その他収入	7,120千円					
		収支差額		989千円		
指定管理者の自己評価	施設の貸出について公平・公正に受付した。 自主事業として施設を活用した市民参加型のスポーツ教室を開催することで、市民スポーツの振興を図った。 修繕を必要とする箇所は緊急度により修繕を行い、利用者の安全確保に努めた。 スポーツ施設の活用事業として健康スポーツ教室・トップアスリートによる有名選手の市民講習会を開催した。					
総合評価	施設の老朽化が進む中、施設の点検、修繕を優先度をつけて適切に実施し、施設利用者は安全・安心のなかスポーツに取り組むことができた。 自主事業として、日本を代表する有名選手の指導者を招いて、教室や講習会を開催するなど、選手のみならず、指導者向けの教室を開催し、市民のスポーツへの関心を高めることができた。 また、空手道やバドミントンなどのスポーツ教室や健康づくりのためのスポーツ教室など新たにスポーツに取り組む方を対象に事業を展開しスポーツのまちづくりに努めた。 一方で施設利用者の指導管理が行き届かないことがあり、適切な維持管理業務が行われるよう指導が必要であった。					